



少女→馬下

ボクは  
依存して  
る

何度やっても  
慣れないん  
だよ……

どき

中い  
毒や、  
だ

ボク

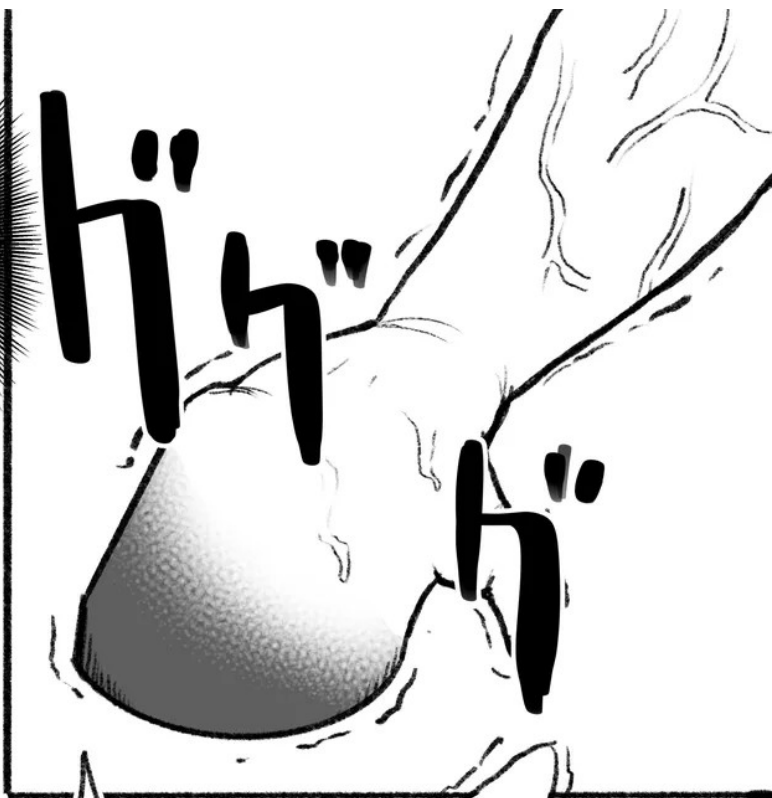
マジマ

中毒

どき

カ  
カ  
カ

カ  
カ  
カ



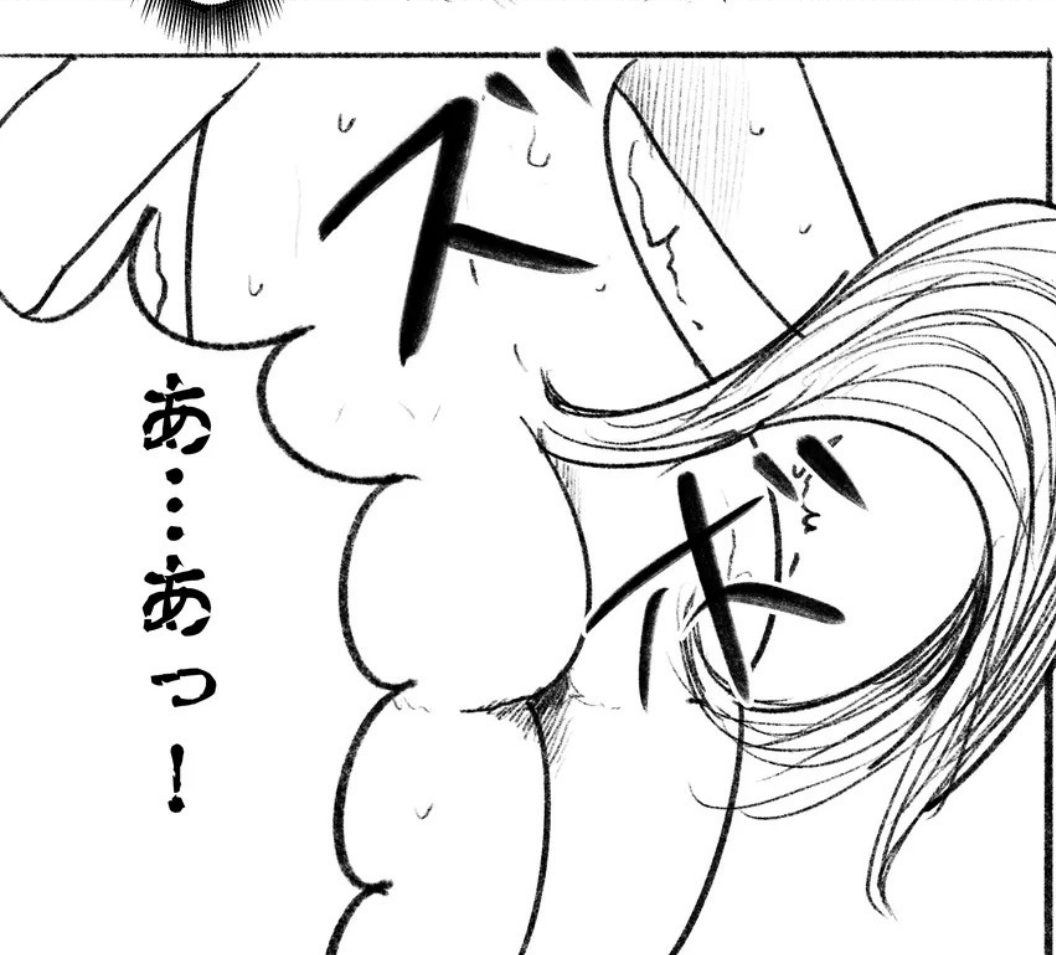
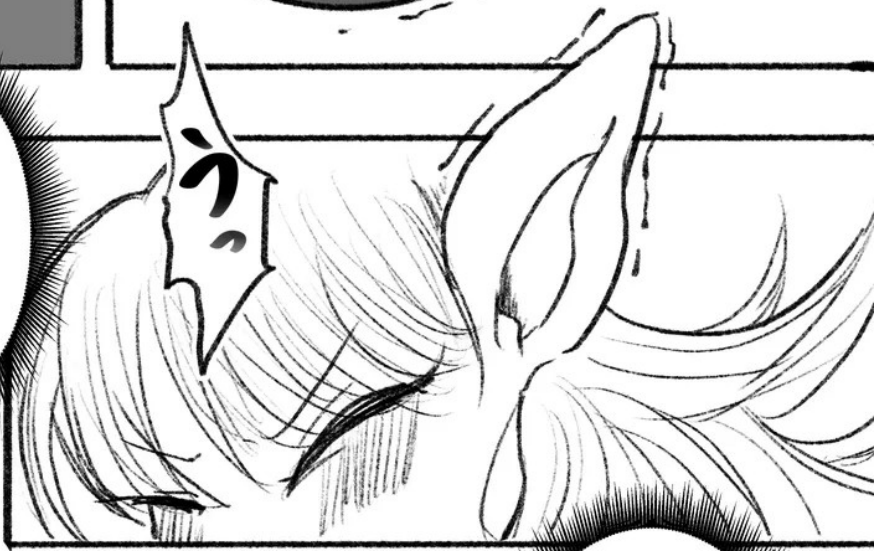
遅いなく  
まったく  
もう

デートに  
誘ってきたのは  
あっちなのは



え…ツツ？

事故!?



あ…あッ!



トラックが  
歩道に  
突っ込んで  
…!?

ビキセキ

下半身  
不随……

一生自分の  
脚では立ってない  
……

だったら  
ボクが……!!

キミの脚に  
なつてあげる!!

ゲアア

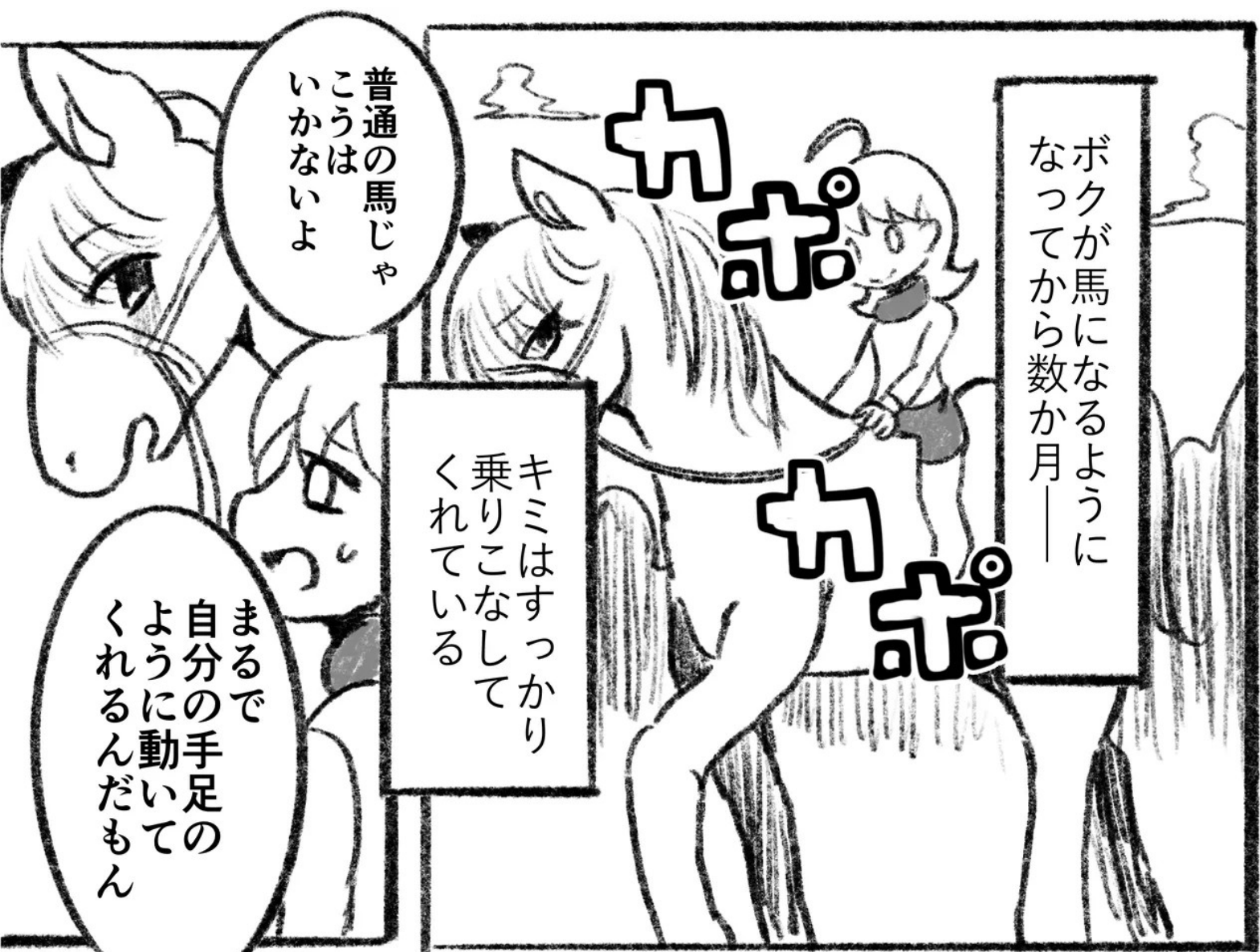
ドクン

ドクン

フル

ゲ

ガ



ボクが馬になるようになってから数か月――

カポ  
カポ

キミはすっかり  
乗りこなして  
くれている

普通の馬じゃ  
こうは  
いかないよ

まるで  
自分の手足の  
ように動いて  
くれるんだもん



全部君の  
おかげだよ

ありがとう！

カママ

ガッ

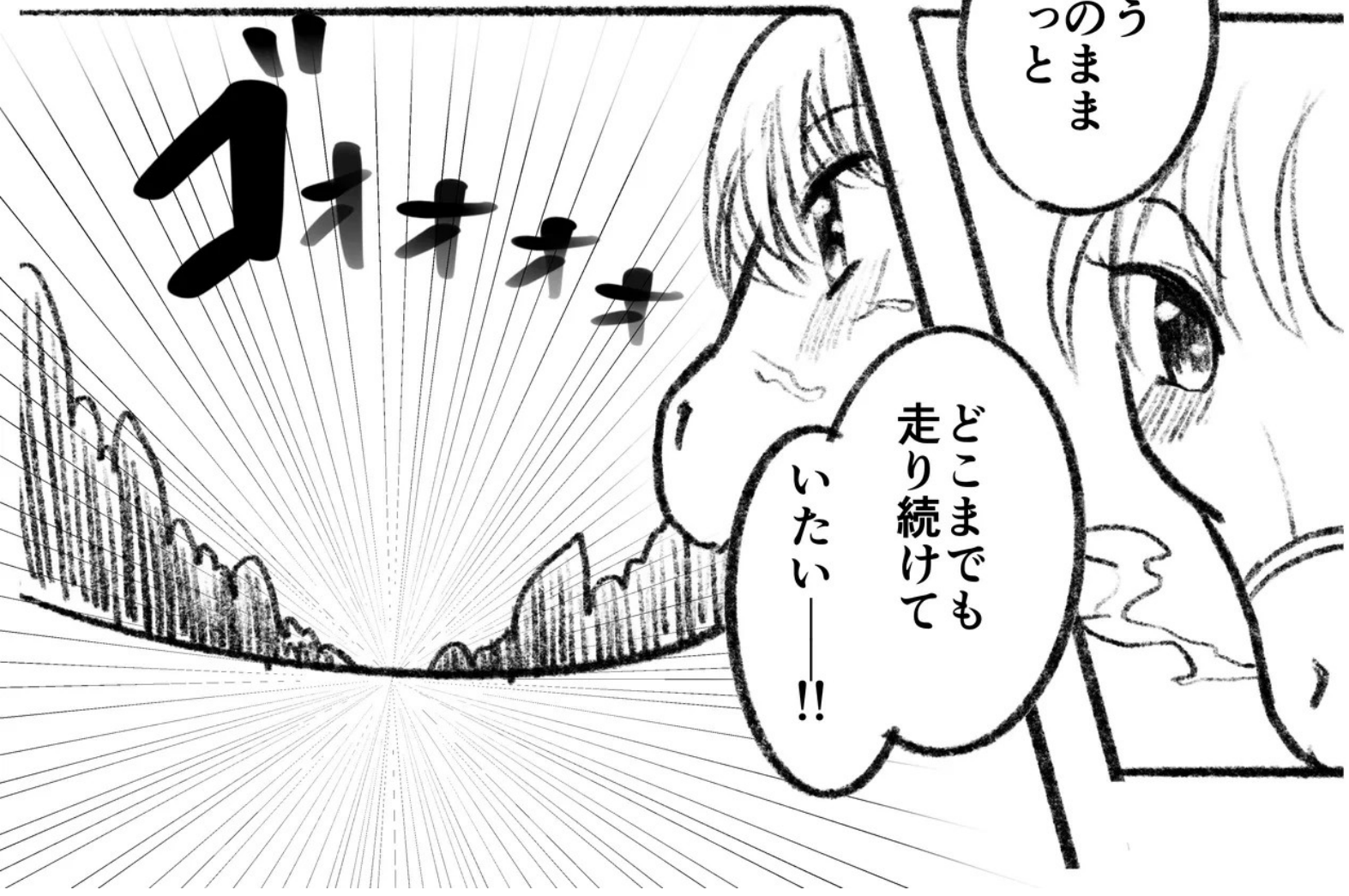
急にそんなこと  
言われたら  
恥ずかしいじゃん！



気持ちいい!

走るのって  
やっぱり  
……!!

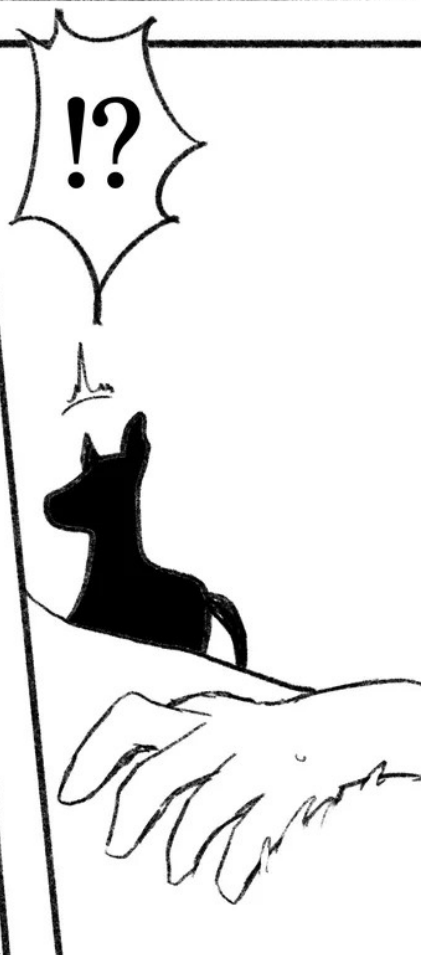
でも…

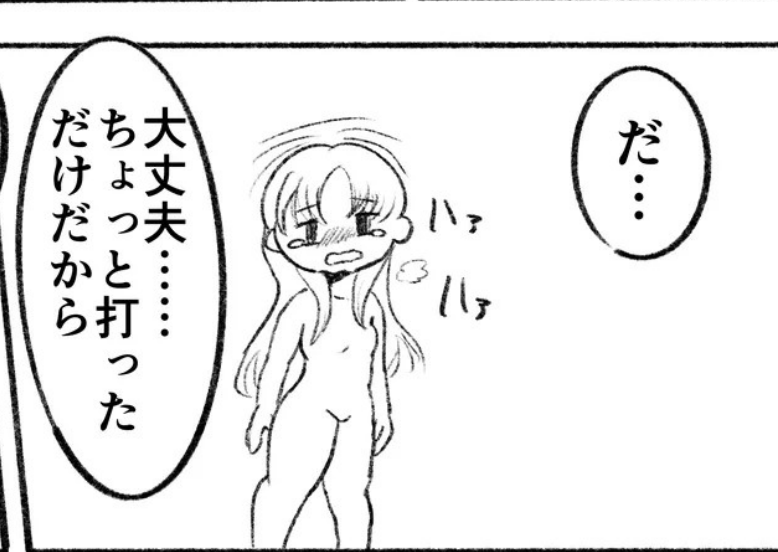
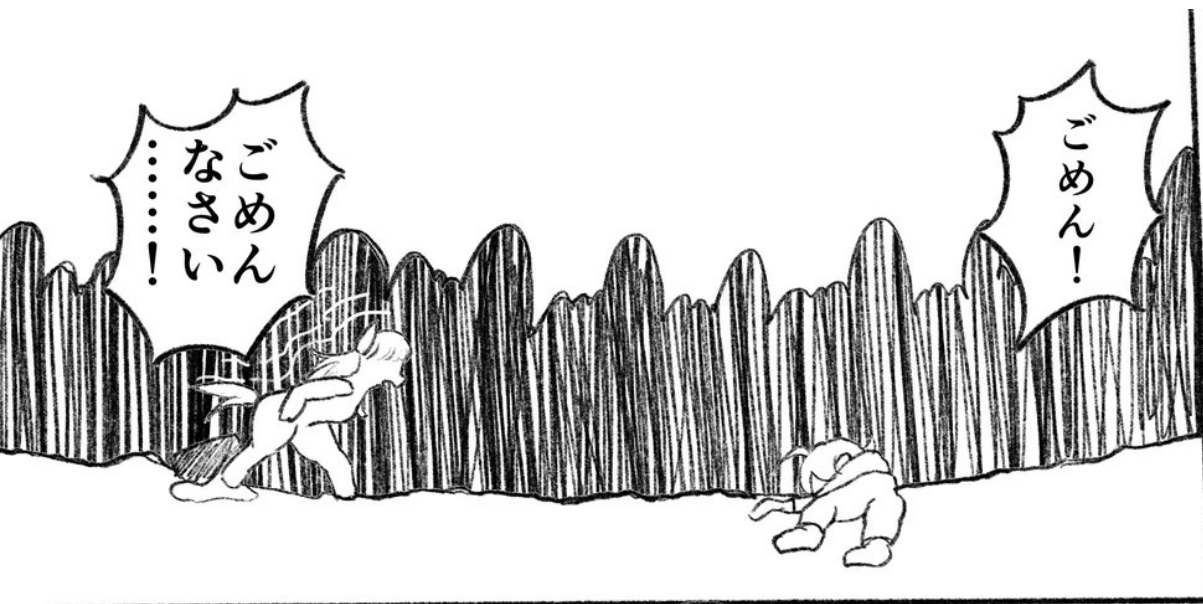


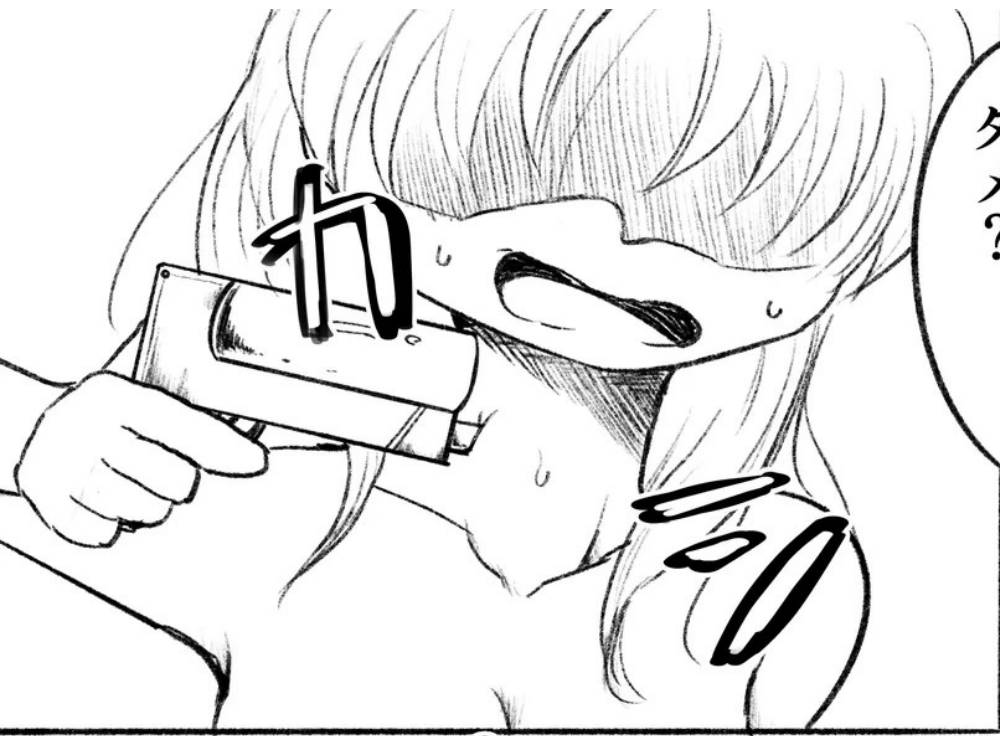
ガオオオオ

もう  
このまま  
ずっと

どこまでも  
走り続けて  
いたい—!!







ねえ……  
ボクがいないと  
ダメ？



じゃあね？



お願いが  
あるの……



キミの  
全部が  
欲しい

ドッポッ  
ドッポッ

ボクがいなくて  
ダメなキミで  
いてほしい

ずっと  
ふたりで気持ちよく  
なりたい！

いつまでも  
一緒に  
いたい！

